

(様式1)

令和4年7月9日

宮津市議会議長 徳本 良孝 様

会派名	無会派
代表者名	北 仲 篤

### 政務活動費 調査研究(視察)報告書

- 1 視察年月日 令和4年6月7日(火)～6月8日(水)
- 2 視察先・項目 ① 関西学院中等部(兵庫県西宮市)  
・中学生を対象とする農山漁村体験学習について
- 3 参加者氏名 北 仲 篤 以上1名
- 4 経 費 14,440円(14,440円/1人あたり)
- 5 添付資料 視察研修行程表・資料(別添のとおり)

## 政務活動費 調査研究(視察)報告書

6月7日(火) 関西学院中等部〔(兵庫県西宮市(面積:99.96km<sup>2</sup>、人口:48万人)〕

視察項目 ・中学生を対象とする農山漁村体験学習について

### 1 視察目的・内容

#### [目的]

関西学院中等部では第2学年または第3学年時に修学旅行が実施されています。

新学習指導要領においても、教育活動において「主体的・対話的で深い学びを実践することが定められており、とくに特別活動では「体験的な活動」を通して実践が重視されています。6月議会一般質問の答弁で触れられたように「農漁村民泊受け入れ先の確保」「体験プログラムの創作・担い手の確保」が課題となります。その研究のため、先進的な教育に取り組まれている関西学院中等部に視察研修するものです。

#### [内容]

関西学院中等部・高等部では全人格教育を重視される教育方針が重視されてきたとのことでした。野外でのキャンプがカリキュラムの一つとして行われてきました。野外活動をするための孤島を所有されており、全員でキャンプをされてこられていたとのことです。それに加えて新型コロナの影響もあり、修学旅行は農村漁村体験学習を行われることになったそうです。その候補地の条件は、①200人を一度に受け入れられること、②地元の体験プログラムと民泊体験ができることであり、これらを満たされる候補として松浦市に決まったそうです。

「一般社団法人まつうら党交流公社」は、長崎県松浦市で広域エリア内14団体の受入組織からなる行政がバックアップする官民協働の組織です。体験プログラムについては、約80種の体験プログラムと約800名のインストラクター、約300戸の民泊家庭を養成しています。「松浦党の里ほんなもん体験」の事業は地域振興を目的にスタートしましたが、体験や民泊を通して、行政関係だけでなく、地元の関係者、教育関係者、何より子ども自身が「見ず知らずの人とでも自分の力で信頼関係を築くことができること」を確信されました。そのことから手紙や電話で積極的に働きかけることが明確となりました。まさに「生きる力」や「人格」が高まる場の提供をできると考えられます。



## 2 考察・検証・成果等

①「農漁村民泊受入れ先の確保」「体験プログラムの創作・担い手の確保」は、ともに長崎県松浦市での「一般社団法人まつうら党交流公社」で実施されています。更に安全性の確保については、複数の関係者に相応しいどうかの資質評価をチェックし、13地区組織と1団体を通じて講習会を開くなど理念や安全指導を徹底しているとのこと。

②農村漁村での地域住民との生きがいつくり、収入増、交流人口増加等の活性化となります。子ども達には教室で習うような知識ではなく、人とふれ合って得た一生忘れられない本物の知識を得ることができます。その意味では、宮津を離れも子どもの中でも一生の中でも揺るぎないものであることから、「ふるさとみやづ学」と同じ価値観と考えます。宮津だけでなく関西学院中等部の資料の中でも生徒の作文と校長先生の祝辞にあることから、異なる地域と立場でも価値のあることから、改めて宮津市で農村民泊を進めるべきと考えます。

